



千五百万個のれんがが積まれたとされる。国鉄中央西線の廃線跡「愛岐トンネル群」(多治見市―愛知県春日井市)。一九〇〇(明治三十二年)の開通時のトンネル十四基のうち十二基が現存し、国重要文化財「碓氷峠鉄道施設」(群馬県)の規模を上回る。

愛岐トンネル群保存再生委

多治見側への整備が目標

鉄道遺産としての価値を公開し、今春までにの現場で作業をしている。を知った住民有志が二〇べ十三万人が訪れた。〇七年、再生委を結成し 保存のため、一四年に一・八キの整備だ。実現の目標は、多治見側安全や住民への配慮などから調査も許されない。地権者の許可が得られは一万余から資金を集すれば、JR古虎溪駅維持、活用に取り組んでら購入した。現在は多治見側から出入り「入ってみなければ、安全や周辺への影響は分かった。〇八年からは春と見、春日井、名古屋市中性の向上や見どころの増からない」と要請を続け秋に春日井側の一・七キ心八十人余が週二回、加、観光の波及効果を見ている。(山本真土)



①公開された愛岐トンネル群を歩く観光客
②愛岐トンネル群の整備や維持、活用に取り組むメンバーいずれも愛知県春日井市で

メモ 今秋の公開は29日まで。午前9時～午後3時。JR定光寺駅(春日井市)下車。駐車場なし。トンネル内の散策に懐中電灯が必要。入場料は100円。雨天中止。☎伊神さん=090(7619)2128

込む。

多治見側のトンネルは、多治見市や名古屋

が所有する。現時点では

安全や住民への配慮など

から調査も許されない。

理事の伊神基博さんは

「入ってみなければ、安

全性や周辺への影響は分

からない」と要請を続け

ている。(山本真土)